

## 令和6年度 第1回 東金市総合計画審議会 議事録

件 名 令和6年度 第1回 東金市総合計画審議会

日 時 令和6年10月2日（水）午後2時から午後4時まで

場 所 東金市役所 第2庁舎 5階大会議室（501・502）

出席者 審議会委員…席次表のとおり（出席者18名）

東 金 市…鹿間市長、子安企画政策部長、中田企画課長、加藤企画課副課長、嘉瀬企画係長、  
小柳主査、及川副主査、小倉主任主事 ※事務局…企画課

議 題 (1)「東金市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果検証（令和5年度実績の評価）  
について

(2)「後期基本計画及び次期総合戦略の方向性（今後のまちづくり）」に係る意見交換

内容については、以下のとおり。

### 《 1 開 会 》

事務局 委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、今年度第1回の総合計画審議会へ御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

- ・配布資料について確認を行った。
- ・出席委員数が、委員総数の過半数に達していることから「東金市総合計画審議会条例（※以下「審議会条例」という。）第5条第2項に規定の要件を満たしており、本審議会は成立している旨を報告した。
- ・本日の会議資料及び議事録、審議会からの評価結果については、市HPにおいて、公表させていただき旨を説明し、出席委員から了承をいただいた。
- ・配布の席次表及び委員名簿による委員紹介に代えさせてさせていただき旨を報告した。

### 《 2 会長あいさつ 》

会 長 （秋口会長から挨拶）

### 《 3 市長あいさつ 》

市 長 （鹿間市長から挨拶）

事務局 議事の進行につきましては、審議会条例第5条第1項の規定に基づきまして、会長は、会議の議長を務めていただくこととなっておりますことから、秋口会長に議事進行をお願いしたく存じます。それでは、秋口会長よろしくお願ひいたします。

## 《 4 議 題 》

### ◎議題（１）「東金市第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果検証（令和５年度実績の評価）について

会 長 それでは、ここから議事の進行を務めさせていただきます。  
皆様方におかれましては、円滑な議事の進行に御協力を賜りますようお願い申し上げます。  
また、改めてではございますが、皆様方に総合戦略に係る御評価、御審議をいただく前に、審議会委員の担う役割、具体的に求められる事柄の確認及び共有を図るため、戦略の概要、戦略への当審議会の関わり方などについて事務局から簡潔な説明をお願いします。

事務局 （戦略の概要及び審議会に求める役割、関わり方の基本的な考え方に係る説明については、【資料－１：「東金市第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要】及び【資料－１の解説】のとおり。）  
今回、御審議いただく中でのメイン資料であります、【資料－２：東金市第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略における効果検証（以下、資料－２）】につきましては、審議会の運営上の観点から、事務局による素案というかたちでお示しをさせていただいております。  
また、評価素案を作成するに際し、当課で各課に状況等を確認し、定性的な部分について、こういった状況にあるかという点も踏まえながら、整理させていただきました。  
なお、評価素案に対し、事前に御意見等を照会させていただいておりますが、本審議会におきまして、審議会の評価として取りまとめていただきたく存じます。  
いただいた御意見、御提案等につきましては、全庁的に共有を図るとともに、当課といたしましても、その内容をもって各課との事業の推進に努めてまいりたいと考えており、その際に、活用をさせていただきたく存じます。

それでは、【資料－２】及び【事前照会に係る御意見等】を基に御説明をさせていただきます。  
また、評価の素案に対する委員の御評価、御意見としていただいたものを中心に御説明をさせていただきます。

会 長 ただいま事務局から説明がありましたが、総合計画や総合戦略を策定した当初の状況から、様々な変化がある中で、素案のような定性的な部分があるということを認識していただきながら、忌憚なき御意見をいただければと思います。  
それでは、ここから具体的な評価の審議に移らせていただきたいと思います。【資料

－ 2】に示されている素案の内容について、各目標単位で事前にいただいた委員からの御意見等の紹介も含める形で、事務局に簡潔に説明を求めます。

○「(1) げんきづくり for VITALIZATION～魅力あるまちをPRして人を呼び込む～」

※●＝「事前にいただいた、委員からの御評価、御意見等の抜粋（以下、同様）となります」

①基本目標【東金市に私たちのまち（My City）といった愛着を感じている市民の割合（%）】

事務局：市民アンケートからの数値ですが、愛着を感じている市民の割合が68.3%という結果となっており進捗状況としては、B評価といたしました。

- 愛着は、高まっているが、まちの活気づくりをもっと取り組むべき。
- サンピア周辺で何か目新しいイベントを定期開催してみてもどうか。

といった御意見をいただいております。

②施策ごとの重要業績評価指標

・施策1【学園のまちの特色を活かし、市民と大学教育機関が連携し、まちを活性化する。】

《大学等と連携したイベントの参加人数（人）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの  
事務局：目標値に対して、実績値が上回っていることからA評価といたしました。

- 人数ではなく、連携の度合いで評価すべきではないか。
- 東金・九十九里波乗りハーフマラソンの効果が大部分を占めている。本質的な連携実績で判断すべきであり、「A評価→B評価」が妥当ではないか。
- 大学以外との連携についても進めるべきである。

といった御意見をいただいております。

先日開催の城西国際大学の域学共創プロジェクトにおいて、課程・カリキュラムに地域連携や地域の課題解決に向けたものを組込むことについて検討いただくよう依頼をさせていただきました。

《活気ある町だと思える市民の割合（%）》

事務局：計画期間を通して、目標値を大きく下回る結果となっていることからD評価といたしました。

- そもそも目標値の設定が高すぎるのではないか。
- 様々な生活スタイルがあり、場所や対象を見据えた中での活気の度合いに着目すべきではないか。
- 抽象的ではあるが、数値自体は向上しており、そういった点を踏まえて、「D評価

→C評価」としても良いのではないかと。

といった御意見をいただいております。

・**施策2【首都圏の近郊に位置する便利な立地特性を活かし、人が訪れたくなるような魅力をPRする。】**

《観光入込客数（人）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：計画期間を通して増加傾向にあり、目標値に向けて順調に推移していることからB評価といたしました。

- ポテンシャルがあるので、更なる向上が見込めるのではないかと。
- 来訪者の目的について分析をしてみるのはいかがでしょうか。
- 城西国際大学の観光学部との連携強化
- 国際的なイベントを企画してみてもどうか。

といった御意見をいただいております。

《市ホームページの年間アクセス件数（件）》

事務局：各種SNSによる情報発信、また、それらとHPとの相互リンクによる発信機会の創出に努めていることが目標値を上回る成果となっておりS評価といたしました。

- イベントの事前周知を工夫すべきである。

といった御意見をいただいております。

・**施策3【地域の魅力を高め、地域力を底上げして、まちを明るく元気にする。】**

《区（自治会）の加入率（%）》

事務局：多様化（個人主義化）といった社会状況の中で、増加させるというのは難しいという状況からC評価といたしました。

- 防災や共助の観点から必要性の周知が必要である。
- 加入に係る負担（経済的なものも含め）について考えていかなければならない。
- 増加・減少抑制のそれぞれの観点による施策とすべきである。

といった御意見をいただいております。

《中央公民館（現中央コミュニティセンター）利用団体数（団体）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：目標値を大きく上回る状況にあることからS評価といたしました。

- 老人福祉センターの閉館（令和6年4月1日）によって、新たな利用先として中央コミュニティセンターの利用団体数が増加していると考えられる。そういった点を考慮すると、「S評価→A評価」とすべきである。

といった御意見をいただいております。

《地区公民館（現地区コミュニティセンター）利用団体数（団体）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：減少傾向にあるものの、C評価といたしました。

- 中央・地域の全体的なコミュニティセンター等の利用状況から施設整備・配置などのあり方について検討すべきである。

といった御意見をいただいております。

### ③総合評価

事務局：基本目標である、東金市に「わたしのまち（My City）」といった愛着を感じている市民の割合（％）について、令和5年度の実績値が基準値を上回り、目標値に向けて推移しており、これは施策ごとの重要業績評価指標の状況から各種イベントや行事などといった、参加型事業の再開が成果として表れているものと考えられることからB評価といたしました。

なお、若者世代の愛着度を高めることが重要であり、雇用対策や子育て環境の整備などといった、それらの世代のライフステージなどを十分に踏まえた取組について、まちの魅力づくりを意識した中で推進していく必要があるものと考えているところです。

- 大学との連携については、好印象であるものの、高等学校との連携が弱いと感じていることから「B評価→C評価」が妥当である。

なお、高等学校や小中学校と連携することは、若い世代にとって、郷土愛の醸成や雇用創出、定住促進につながっていくものと認識している。

将来の東金市を担う人材との連携も視野に入れた施策を要望する。

といった御意見をいただいております。

- 会 長        事務局から説明がございましたが、御意見等ございますでしょうか。
- 委 員        《中央公民館（現中央コミュニティセンター）利用団体数（団体）》の関連として、中央コミュニティセンターの利用方法について検討してほしいことがある。  
例えば、館内での飲食等について認めていただくことは可能なのか。
- 会 長        評価に対する意見等について協議する場となりますので、個々の質問について事務局が都度、回答をしていくのは、なかなか難しい部分もあるかと思われます。  
担当課ではない中で、施設の運用に係る柔軟な対応について検討いただきたいとのことですが、事務局からこの意見について何かございますか。  
ある場合は、簡潔にお願いします。
- 事務局       中央公民館としての性質を引き継ぎながら、地区のコミュニティの活性化に資する施設として位置付けをさせていただき、現在、運用をしているところです。  
いただいた御意見等は、他の利用者との兼ね合いもございますことから、お預かりさせていただき、担当課に共有させていただきます。
- 会 長        ほかに評価に係る御意見等ございますでしょうか。
- 委 員        《区（自治会）の加入率（％）》について減少傾向にあり、C評価が妥当であるとする。実感として減少しており、私が属する自治会でも入っていた人が抜けるといったことが起こっている。  
では、どのような対策をするのかという中で、実際に抜ける方に話を聞いてみると、抜けてしまっても仕方がないような事情というのが、ほとんどである。  
そこで、個人的な考えであり、難しいとは思いますが、自治会に対して市がもう少し介入してくれればよいと考える。  
このままだと、自治会そのものが消失してしまう日が来るのではないかと危機感を持っている。  
地元民から意見を聞いて、検討してほしい。
- 会 長        市側が地域の方々の意見を傾聴する機会を設けるなど、柔軟な対応を検討していただければと思います。
- 会 長        ほかに御意見等が無いようでしたら、  
「（１）げんきづくり for VITALIZATION～魅力あるまちをPRして人を呼び込む～」の評価

の取りまとめといたしまして、審議会からの評価につきましては、素案のとおりとしてよろしいでしょうか。

～委員より異議なしとお声あり～

会 長        続きまして、2つ目の「みらいづくり」に進みたいと思います。  
それでは、事務局に簡潔に説明を求めます。

○「(2) みらいづくり for NEXT GENERATION～子育てのしやすい環境を整える～」

①基本目標【この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の割合（%）】

事務局：概ね目標を達成していることからA評価といたしました。

- 東金市で子育てしたくなるような、自慢できる施策を検討すべきである。
- 女性が働きやすい環境を提供する企業を誘致すべきである。
- 「A評価→C評価」が妥当である。また、数値の推移をよく見て、必要な予算を重点的に配分すべきである。

といった御意見をいただいております。

②施策ごとの重要業績評価指標

・施策1【安全面や経済面から子育て世帯を支援する。】

《待機児童の解消（人）》

事務局：待機児童数1人となっているが、年度中（令和5年6月）に待機が解消されている状況にあるのでA評価といたしました。

また、前回の審議会でもいただいた意見の反映として、年度内の解消の有無や潜在的待機児童数について補助指標及び参考数値として記載しております。

《学童クラブ入所待機児童数（人）》

事務局：現時点で目標値を達成していることからA評価といたしました。

こちらにつきましても、補助指標・参考数値として記載しております。

・施策2【出会いから子育てまで切れ目なく支援する】

《地域子ども・子育て支援事業の実施状況（事業）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：計画上の利用見込みがあった事業数について、増加傾向にあるものの目標値を下回る結果となったことからC評価といたしました。

《産後に助産師や保健師等からケアを受けることができた者の割合（％）》

事務局：各種事業の実施によって、基準値を上回る実績値の増加となり、目標に向けて順調に推移していることからB評価といたしました。

・施策3【教育・保育の現場と地域・家庭が一体となって子どもを育てる。】

《放課後子ども教室に参加する児童の割合（％）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：コロナ収束後も需要が見込めず、事業を休止中であり、目標達成が困難な状況にあることからD評価といたしました。

なお、事前照会の際に委員から「どのような事業」で「なぜ休止中なのか」を示してほしいとの御意見があり、素案に追記させていただいております。

当該事業は、児童の学力向上を目的に希望する小学校において、放課後や休日等の時間帯における自主学習等に係る支援を行うものであり、国庫補助事業の要件を満たす実施内容（日数・利用児童数）には至らない見込みとなったため、学童クラブの実施状況なども踏まえ事業休止としたものとなります。

《長欠児童生徒数（人）（年度間に30日以上登校しなかった児童生徒数）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：基準値及び目標値に対して、長欠児童生徒数の抑制が図られていないことからD評価といたしました。

- 原因と対策を早急に講じるべきである。
- 今まで以上に学校現場や地域全体で対策すべきである。
- 個別状況の踏み込んだ把握と具体的な対策が必要である。
- 長欠を予防する施策の展開のみならず、長欠となった者がその状況を克服して登校できるようになる施策、登校できなくとも社会性を獲得できる機会の創出といった施策も重要である。担当課において、総合的な長欠対策に資するような施策展開を期待する。

といった御意見をいただいております。

こちらにつきましては、カウンセラーや県の事業も活用しながらスクールサポーターの配置に努めております。

また、ICTの活用による児童生徒とのコミュニケーションの確保については、担保されているものの、実際の登校には繋がっていないのが現状であります。

なお、コロナの出席停止の取扱いの変化に伴う、カウント方法が変化したことが挙げられますが、全国的にも県内においても増加傾向となっています。

また、考え方や生活スタイルの多様化、外国人の増加といった様々な要因があり、プラ

イベントを優先するような事案もあるところでは。

・**施策4【働きながら生み育てやすい環境をつくる。】**

《公立認定こども園に転換した施設（施設）※累計》

事務局：現状で、目標値の達成（3施設の認定こども園への転換）に至ったことからA評価といたしました。

- 千葉市や都心にも近い立地にあることや、東金市は「子育てしやすいまち」であることをもっとアピールすべきである。

といった御意見をいただいております。

③総合戦略

事務局：（この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の割合（％））について、基準値を上回り、概ね目標値に近い実績値となっており、これについては、当市における子育て支援策の拡充等を講じていることが、数値として表れているものであると考えB評価といたしました。今後も継続した各種支援策の拡充等を図っていく必要があるものと考えております。時代に合った、新しい切り口の事業や施設整備も検討しながら進めていければと考えております。

- 子育てをしていきたいと思う親の割合が低下していることについては、非常に気になる場所である。子育て世代の求めるものを的確に捉え、現在の支援策をより拡充させることや新しい支援策を打ち出す等、積極的な支援策を要望する。

といった御意見をいただいております。

-----事務局による評価に係る説明終了-----

会 長      その時代のニーズを把握し、施策を展開していただきたい。  
              なお、今回は、コロナ禍の影響もある中で、苦しい判断をしなければならないということが多かったと思います。  
              そのあたりに関しては、事前照会でも委員から御意見等もありました。  
事務局の説明を聞き、何か御意見等ございますでしょうか。

委 員      《長欠児童生徒数（人）（年度間に30日以上登校しなかった児童生徒数）》についてですが、先ほど要因の話の中で、外国人の増加があり「生活スタイル」について言及があったかと思う

が、具体的に何を指しているのか。

また、学校や生活の中で外国人の増加に伴い、様々な面で対応に苦慮するような話を他自治体から聞くことも多いが、東金市でもそのような状況にあるのか。

事務局 まず、少し話が戻ってしまいますが、長欠児童に該当するというのは、年間で30日以上休んでいることとなっており、近年の社会情勢などからもこの数字は、比較的容易に該当してしまうものであると教育委員会も捉えている状況にあります。

また、生活スタイルというのは、外国人の方々が一時帰国しなければならないような行事や個別事情といった、出生した国の生活様式や風習等が大きく影響する部分があり、そういった場合でも、「お休み」にカウントされることにより、長欠児童になってしまいます。

その点を踏まえ、先ほど「生活スタイル」ということでお話をさせていただきました。

会 長 ほかに御意見等ございますでしょうか。

委 員 長欠児童生徒に限らず、夏休み、冬休みといった長期休暇があると休暇明けは、非常に辛いものがある。人間ですから誰しもの感じることであると思う。

そこで、長欠児童生徒を増やさないための施策だけではなく、長欠からの復帰や長期休暇明けの児童生徒に対して、「どのようにケアするのか」について検討し、そういったケアを積極的に行うべきであると考えている。

会 長 ほかに御意見等ございますでしょうか。

この施策3については、非常に難しいテーマであり、事務局側にとっても素案を作成するに当たり大変苦慮したことと思います。

今回の審議会で各委員からの御意見等を十分に踏まえ、検討いただき、今後にしっかりと反映した取り組みをしていただきたいと思います。

会 長 それでは、特に御意見等が無いようでしたら

「(2) みらいづくり for NEXT GENERATION～子育てのしやすい環境を整える」の評価の取りまとめといたしまして、審議会からの評価につきましては、素案のとおりとしてよろしいでしょうか。

#### ～委員より異議なしとのお声あり～

会 長 続きまして、3つ目の「まちづくり」に進みたいと思います。

それでは、事務局に簡潔に説明を求めます。

○(3)「まちづくり for COMFORTABLE CITY ～住みやすいまちをつくる～」

①基本目標【東金市に「住み続けたい」と感じている市民の割合(%)】

事務局：計画期間を通して低下傾向にあるものの残存計画期間も考慮し、C評価といたしました。

- 交通の充実が必要である。
- 市内における働く場所を増やすことができるよう取組を推進すべきである。
- 車が無いと不便である。

といった、御意見をいただいております。

②施策ごとの重要業績評価指標

・施策1【時代の変化に適応した安全で便利なまちにする。】

《循環バス合計年間利用者数(福岡・豊成路線合計)(人)》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：計画年間を通して、減少傾向にあり、目標値を下回っていることからD評価といたしました。

各路線における年間利用者数等について、補助指標・その他参考数値として記載しております。

- 高齢化率が上昇していることに伴い、利用者も増加傾向になると思われる。
- そもそもの目標値の設定が高すぎるのではないか。そういった点を考慮すると、「D評価→C評価」が妥当である。市内の各地区の高齢化率を分析して、再考すべき。
- 需要と供給のバランスから見れば、「D評価→B評価」であると考ええる。
- 市民が求めているものとの相違があるのではないかと考える。

といった御意見をいただいております。

《東金市乗合タクシー年間利用者数(人)》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：実績値が基準値及び目標値ともに下回っていることからD評価といたしました。

- 調整等、難しい点もあると思われるが、市外運行について検討してほしい。
- 利用しやすい形態を再検討すべきである。
- 人口に対する利用率や距離別利用者数、目的別利用者数などの観点から分析をするべきであり、指標について再検討した方が良い。

といった御意見をいただいております。

《自主防災組織設立数（団体）》

事務局：令和6年8月末時点で2団体が新設となり、目標値を達成していることからA評価といたしました。

・施策2【市民や来訪者など多様な人が集まる拠点や魅力スポットをつくる】

《みのりの郷東金利用者数（人）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：目標値を達成していることからS評価といたしました。

《東金市デジタル歴史館アクセス件数（件）※累計》

事務局：目標値を達成していることからS評価といたしました。

《東金アリーナ外3スポーツ施設の利用者数（人）》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：コロナ収束後、利用者数に増加が見受けられ、残存計画期間も考慮し、C評価といたしました。

・施策3【市と市民が協働して安心して住み続けられるまちをつくる】

《ふるさと納税を活用した地区交付金支給額（円）》

事務局：基準値及び目標値を上回る実績であることからS評価といたしました。

・施策4【快適な住まいの場を提供し、新たな定住者を迎え入れる。】

《空き家候補建物数（件）》

事務局：目標達成がやや困難であることからC評価とした。

●市が空き家を買上げし、リニューアルして、若い世帯に安価で貸出するような補助制度などを検討いただきたい。

といった御意見をいただいております。

《転入者数（人）》

事務局：令和4年度と比較すると人数が減少したものの、目標値に近い水準にあり、B評価といたしました。

③総合評価

事務局：東金市に「住み続けたい」と感じている市民の割合（％）は、計画年度を通して減少傾向にあり、C評価といたしました。

これからのまちづくりを担う若者の世代に、本市を「生活の場」として選択してもらえるよう

な、まちの魅力づくり（職住近接などを意識した）に向けた取組が必要であり、今後も雇用の創出などといった「しごとづくり」に掲げた施策の推進などについて、新たな具体的な事業の展開をもって取り組んでいきたいと考えております。

●「C評価→B評価」が妥当である。

転入者の増加は好材料であるものの、エンゲージが高まらないのは、施策が不十分であるとする。

●古くからの課題となっている交通アクセスについて、「少子高齢社会」によって問題がより深刻化し、顕在化していると感じる。抜本的な発想の転換による課題解決を要望する。

●市の中心部の元気づくりが必要である、次の計画に位置付けてほしい。

といった御意見をいただいております。

-----事務局による評価に係る説明終了-----

会 長 事務局の説明に対し、何か御意見等ございますでしょうか。

委 員 流入人口を増やし、定住につなげていくために、重要なものは「農業」であるとする。  
新規就農者として、定年退職後に農家となる人が増えている。県外からも人が来る。  
東金の魅力として、気候と地形に恵まれていて、好条件にあり農業に適している。  
そういった、新規就農者に対する補助金制度などを検討してほしい。

会 長 新規就農による定住促進という御意見がございました、補助金等のソフト面、住宅関連のハード面等、総合行政である市役所は、多岐に渡る業務が必要となってくるものであると考えますので、貴重な御意見としてしっかりと受け止め、今後の展開に生かしてください。  
ほかに御意見等ございますでしょうか。

委 員 東金市に住み続けたい人の割合が約59%であるのに対して、子育てをしていきたい親の割合が約90%とここの数値の差が気になる。本来であれば、この2つの数値は、ある程度の相関関係があるのではないかと感じるがどうなのか。

会 長 一般論や政策的なものというわけではなく、印象で構わないので事務局から何かございますか。

事務局 こちらにつきましては、質問をしている対象が異なっております。  
「住み続けたい」については、市民アンケートにおいて、全体に聞いており、「子育てをして

いきたい」については、検診の際に子育て世帯に対象を絞っているものとなりますので、数値に差が生じているといったものとなります。

やはり、受益者がどう感じているのかといった部分が数値に反映してくるものであり、なかなか相関関係を持たせるということは、難しいと推測します。

委 員 説明したいことは、わかりませんが。  
アンケート調査をするにあたり、そういった基準が明確に示されていないといけないと考える。

会 長 ベースの違う数値の出し方があるというのは、効果検証するにあたっても問題視されているところではあると思います。  
今回の意見について事務局もしっかりと受け止め、関係のコミュニティやそういう分野の方々に特化した、市民への働きかけなどをいただければと思います。  
貴重な御意見ありがとうございます。

会 長 ほかに御意見等ございますでしょうか。

委 員 自主防災組織の設立数について、A評価で妥当である。  
そこで、77行政区ある東金市において、42団体が設立されているという状況について、人口当たりのカバー率という観点で見ると約80%になると思います。そのカバー率から考えると小さな区が残っているという考え方ができる。そこで、この自主防災組織というものを全地区に広げていくためには、市が今まで以上に積極的に動くべき時期になっていると考えるところであり、市にお願いしたいところである。  
関連として、現在の消防団について、高齢化や団員の減少といった現状を踏まえ、3年ほど前に機構改革を行ったところであるが、そういった点で消防団だけではなく、自主防災組織にも力を入れていくといった方向性を示す時期であると考えます。  
また、人口問題、財政難といった状況の中で、「今あるから継続する」ではなく、変化を受入れ、「何を残し」「何を変えて」「何を捨てて」といった取捨選択のもと、必要となる新たな何かに投資をしていくといった変革を市に期待する。

会 長 ただ今の御意見をしっかりと受け、関係部署に共有し、検討していただくよう事務局に対してお願いします。  
また、委員からお話のあった、「新たな投資」についても次回や来年の会議でそういった素材を出していただきながら、語りあうことができればと考えます。  
行政には、いわゆる「甘い計画」では、この先、持ち堪えることが難しいことに留意いただきたいと考えます。

会 長 それでは、他に御意見等が無いようでしたら、(3)「まちづくり for COMFORTABLE CITY

～住みやすいまちをつくる～」の評価の取りまとめといたしまして、審議会からの評価につきましては、素案のとおりとしてよろしいでしょうか。

～委員より異議なしとお声あり～

会 長        それでは、「(4) しごとづくり」について、事務局に簡潔に説明を求めます。

○「(4) しごとづくり for JOB CREATION～地域に雇用を創出し働きやすい環境を整える。」

①基本目標【仕事や余暇を過ごすなど生活するうえで、東金市が「暮らしやすい」と感じている市民の割合(%)】

事務局：目標値を大きく下回っていることからD評価といたしました。

こちら、47.5%が「普通」と回答をしている状況であり、20代・40代において「住みにくい」と回答している方の割合が高い傾向にあります。

この理由として交通、買い物等の日常生活が不便、まちに発展性、魅力や活気がないという意見が多数を占めている状況です。

- 「仕事上の暮らしやすさ」と「余暇を過ごす上での暮らしやすさ」は異なるものであり、分けて、指標とすべきであった。
- 働く場所づくりが肝要である。経済振興や企業誘致による雇用環境の改善が急務である。特に東金IC付近の工業団地のキャパシティを拡張すべきである。

といった御意見をいただいております。

②施策ごとの重要業績評価指標

・施策1【豊かな地域資源の活用や新技術の導入により、時代が求める産業を地域から生み出す。】

《みのりの郷東金農業者市内出荷者数(人)》

事務局：概ね目標を達成していることからA評価といたしました。

- 販売農家数から判断すると、「A評価→B評価」が妥当ではないか。  
また、来客数も年々増加傾向にあることから、精算機の増設や施設の拡張を行いつつ、出荷者数の増加に向けた取組を進めてほしい。

といった御意見をいただいております。

《公共施設における県産材の利用施設(施設)※累計》

事務局：令和4年度実績から変化がない状況を踏まえC評価といたしました。

- みのりの郷東金・とっちなにおける木材利用の努力は認める。

しかしながら、森林環境譲与税による木材の利用が進められる中で、東金市は「山武杉」というブランドを生かしきれていないように感じる。

といった御意見等をいただいております。

## ・施策②【人の流れを促し雇用を創出する新たな産業の導入・育成を図る。】

《新規企業立地数（社）※計画期間中の累計》

事務局：市内に新たに立地した企業や、市内で再投資を行った企業に対する奨励金制度を構築したものの、目標値を下回っていることからD評価といたしました。

数値に変化はないものの、産業用地の整備について具体的な段階にも移行しており、また、旧源小学校などの空き公共施設の跡地利活用という観点から企業誘致を進めているところです。

なお、奨励金について、再投資を行った企業4社、新規立地企業2社の計6社に支出するとともに、再投資を行った企業6社を新たに対象企業として指定いたしました。

- 成田空港第3滑走路拡張（令和10年度予定）に伴い、企業立地、居住地として選択してもらえるような施策を検討してほしい。

- 新規に起業する青年社長を商工会議所と連携し、育成するべきである。

- みのりの郷に「野菜市場」「鮮魚市場」を大きく展開する。例えば、野菜は市内の農家が出荷し、鮮魚は、片貝漁港と連携する。

といった御意見をいただいております。

## ・施策③【多様な選択肢が可能となるような生活と仕事の両立に向けた取組を進める】

《【再掲】待機児童の解消（人）》

《【再掲】学童クラブ入所待機児童数（人）》

※再掲の指標となることから説明省略とさせていただきました。

## ・施策④【ニーズが高い健康・福祉部門を充実させながら雇用を創出する。】

《看護師確保数（人）》

事務局：概ね目標を達成していることからA評価といたしました。

《介護サービス施設数（施設）》

事務局：概ね目標を達成していることからA評価といたしました。

また、事前の意見として増加目標に対して、1施設減少しているがA評価とした理由についての確認がございました。

こちらにつきましては、定性的な部分に係る説明が不足しており申し訳ございません。介護保険法の改正による「介護療養型医療施設」の廃止に伴い、1施設減少となったものの令和6年度以降、「認知症対応型共同生活介護施設」を1施設、「定期巡回・随時対応型訪問看護介護施設」を1施設、それぞれ公募し、整備する計画となっており関係事業者からの問い合わせ等もある状況となっております。

### ③総合評価

事務局：東金市が「暮らしやすい」と感じている市民の割合（％）について、目標値を下回る状況であるためC評価といたしました。

今後は、まちの魅力づくりの取組と併せ、「職住近接」を目指し、交通機能の充実とともに市内での雇用の創出に更に取り組む必要があるものと考えます。

- 評価できる項目も多くあることから「C評価→B評価」が妥当である。
- 仕事づくりが「心」「生活」の豊かさにつながり、それが好循環となる。そうなるためには、都市機能の強化を図っていただきたい。「C評価→D評価」が妥当である。
- 健康福祉部門において、医療体制及び地域福祉の推進と社会保障制度の充実が良い結果を残しており、社会需要の観点からも今後の伸びしろがあることから「B評価に近いC評価」と考える。
- 成田空港圏としての意識を持つことで変化が期待できる。  
また、八街・佐倉・成田などはアクセスがしやすいものの人流や物流といった交流が少ないことによって意識が千葉・東京に向かっているので、発想の転換が肝要である。

といった御意見をいただいております。

-----事務局による評価に係る説明終了-----

会 長     何か御意見等ございますでしょうか。

委 員     新規企業が東金市に立地し、活発に事業を行っていることと思うが、そういった市外からの企業が「なぜ東金市を選んできたのか」「なぜ良かったのか」「選んでみてどうだったのか」といったことを全部教えもらい、また、市の持つポテンシャルを最大限に活かした施策を推進し、そのポテンシャルを最大限に生かせる企業に活用いただいくべきであると考え。加えて、農家とタイアップが可能な企業の誘致を進めるというのも良いと考える。

委 員     東京へのアクセスのしやすさというのは、東金の魅力である。  
そういったポテンシャルを生かしてほしい。

また、先ほども他の委員からもあったが、東金の「強み」と「弱み」をしっかりと分析してほしい。

委員 企業立地に係る奨励金について、新規立地企業 2 社及び再投資企業 4 社の計 6 社に支出されているとの説明があり、状況がよく理解できた。  
先程も話に出ていたが、交通の利便性、要衝としての立地を、しっかりと生かした施策を展開  
いただきたいと考える。

会長 ほかに御意見等ございますでしょうか。  
無いようでしたら、「(4) しごとづくり for JOB CREATION～地域に雇用を創出し働きやすい  
環境を整える～」の評価の取りまとめといたしまして、審議会からの評価につきましては、素  
案のとおりとしてよろしいでしょうか。

～委員より異議なしとお声あり～

会長 それでは、「(5) きずなづくり」について事務局に簡潔に説明を求めます。

○「(5) きずなづくり for FRIENDSHIP～地域間の連携を目指して～」

①基本目標【近隣市町村との連携が進んでいると感じている市民の割合 (%)】

事務局：計画期間を通して減少傾向にあり、基準値及び目標値を大きく下回っていることからD評  
価といたしました。

- マラソン以外に目立つ連携事業がないと感じてしまう。
- 九十九里との連携を強化すべきである。
- 広域で資源と捉え、その中核的役割を担うといった発想の転換が必要である。
- 東千葉MC・クリーンセンターの問題について懸念としている市民が多いと予想され  
る。それぞれ性質が異なる市町であるため連携の目的を明確にして、連携を図るべきで  
ある。

といった御意見をいただいております。

②施策ごとの重要業績評価指標

・施策1【ともに生活する地域がひとつになり、水準を落とさずに効率的に運営する。】

《地域中核病院の東千葉メディカルセンターを中心とした東金市の医療体制に満足している市民  
の割合 (%)》

事務局：実績値が基準値を下回っているものの、経営改善の取組に加え、業務改善の取組も進め

ていることを踏まえ、C評価といたしました。

- 良い点と悪い点を把握し、改善していく取組について市民に分かりやすく説明し、安心して利用できるようにしていただきたい。
- 住民感情に左右される部分でもあるので、C評価で妥当である。
- 救急の受け入れについて、他地区からの受け入れがある中で、域内からの救急搬送が千葉、成田、旭などへ搬送されることもあるなど、ミスマッチがあることは、課題と捉えるべきである。

といった御意見をいただいております。

#### ・施策2【便利で快適、安心・安全な暮らしを確保する地域のつながりと絆を深める。】

《九十九里地域で連携した観光イベントの開催》※コロナによる直接的な影響が生じているもの

事務局：基準値及び目標値を大きく下回っていることからD評価といたしました。

事前照会に対する御意見でもいただいておりますが、県主導による九十九里連携チームによる具体的な事業化といった段階に進んでいけるよう市として参加してまいりたいと考えております。

- 地域間で連携した観光事業の創出というのは容易ではなく、また、コロナの影響により収縮せざるを得ない状況であったことは理解している。  
今後の頑張りに期待する。

といった御意見をいただいております。

《公共交通に満足している市民の割合（％）》

事務局：計画期間を通して、減少傾向にあり、目標値を下回っていることからD評価といたしました。

- 交通はもとより、施設の共同利用を推進する必要がある。

といった御意見をいただいております。

### ③総合評価

事務局：近隣市町との連携が進んでいると感じている市民の割合（％）について、基準値及び目標値を大きく下回っていることから、D評価といたしました。

今後、更なる観光需要への対応や各種連携事業に向けた、新たな取組の推進、関係機関との連携等を強化・推進していく必要があると考えております。

- 東金の持つ、恵まれた自然、文化、社会的環境の更なる有効活用を図ってほしい。
- 近隣自治体との連携をほとんどの市民が感じていないのは、「連携していることのアピールが不足している」もしくは、「連携事業そのものに何か問題がある」といった疑問が残ることから【D評価→C評価】で妥当であると考ええる。

といった御意見をいただいております。

-----事務局による評価に係る説明終了-----

- 会 長 各種連携事業について、改めて関係機関との連携等を強化し、推進していく必要があることや市民レベルでの近隣自治体との連携といった御意見がありました。  
また、連携している施設運営や事業実施が実際には多くあるので、地域間連携の取組を市民に対してしっかりと周知を図っていただければと考えます。  
それでは、何か御意見等ございますでしょうか。
- 委 員 基本目標の実績値について、「わからない」と回答した方が約半数という点について、市民アンケートの設問が抽象的で答えにくいのではないかと。  
例えば、観光分野や医療分野などの分野を絞った設問にすることで、回答の精度が高まると考える。
- 委 員 効果検証や評価に係る何らかの判断基準を示していただいた方が良いのではないかとという意見を前回の審議会で申し上げた。  
今回、進捗状況の評価について、そのことを意識されご苦労されたことが窺えるが、やはり個別の説明では判断しづらいものもあるため、次回はさらに全体の考え方の整理がされることを期待する。  
総合評価について、基本目標に関する評価が施策の評価と同列にされているが、基本目標はレベルが異なるものであり、事務局の記述でもそのウェイトが大きいと思われるので、今後は評価の重みづけについて検討されてはいかかかと思う。
- 会 長 今の御意見は、効果検証の限界を御指摘いただいたものであると私は考えます。  
一つひとつの指標を評価していき、全体を評価する仕組みの中で、重要なものとして定量評価と定性評価があります。定性的な部分については、委員の感覚も含め、それぞれの方々の御判断に依る部分が大きいと思います。  
そのような中で委員の皆様からの御協力のもと、事前照会でいただいた回答内容を事務局がまとめた「意見一覧」という資料があり、これによって、委員の皆様が「どう感じているのか」

「どう考えているのか」といったものが見えるようになり、様々な意見が合わさることで、このようなかたちで効果検証をすることができたと考えております。  
また、そういったもののおかげで、かなり充実したものになったと思っております。

会 長      ほかに御意見等ございますでしょうか。

委 員      総合戦略として、各施策に区分されているが、総合的に捉えれば全てが連動しており、連携した事業でもある。  
例えば、若い世代が「住みやすいまち・住み続けたいまち」と感じてもらうには、雇用の問題をクリアするべきであり、クリアするためには、企業誘致が必要である。他にも、医療問題もあるが、これも一つの市だけで運営をするのは難しいから連携していくものである。  
ほかには、産業用地、成田空港などと話に挙がるが、「倉庫」としての誘致では意味がない。これを兼ねる企業でもいいから、企業を誘致しないといけない。そのためには、しっかり投資をしてでも推進をしていってほしい。  
市町村連携もその一つであり、全てが繋がっているものとする。

会 長      貴重な御意見ありがとうございました。  
多面的なものを評価という形にして、皆様から色々と御意見をいただくということは、非常にありがたく、素晴らしいことと思います。  
ほかに御意見等ございますでしょうか。

会 長      御意見がないようでしたら、事務局からすべての項目に係る評価の素案やそれに至った理由、また、各委員からの意見等を含め説明がございました。  
委員の皆さまにおかれましては、貴重な御意見、御提案をいただきありがとうございました。  
では、「(5) きずなづくり for FRIENDSHIP～地域間の連携を目指して～」の評価の取りまとめといたしまして、審議会からの評価につきましては、概ね素案のとおりとしてよろしいでしょうか。  
併せて、今までの事務局からの説明等を加味して、当該戦略の「全体評価」に係る、審議会からの評価につきましても事務局の説明、事前照会等を踏まえ、「C評価」ということでまとめさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。  
何よりも大切なことは、いただいた御意見等を今後の施策に生かしていただくことと思いますのでよろしくお願いします。

会 長      これにて、各項目及び全体評価に至るすべての実績評価が完了いたしましたので、議題(1)を終了とさせていただきます。

～委員より異議なしとお声あり～

会 長     それでは、続きまして

**議題(2)「後期基本計画及び次期総合戦略の方向性（今後のまちづくり）」に係る意見交換**  
に進めさせていただきます。

事務局に簡潔に説明を求めます。

**◎議題(2)「後期基本計画及び次期総合戦略の方向性（今後のまちづくり）」に係る意見交換**

**①後期基本計画及び次期総合戦略の策定に係る基本的な考え方について**

事務局：策定に係る事務局としての基本的な考え方といたしまして、

- ・後期基本計画につきましては、現総合計画における基本構想に定めている体系（第4次東金市総合計画概要版（冊子）P 6～P 7 参照）に基づき策定することとしたいと考えております。

※基本構想の期間については、現総合計画の計画期間と同様に10年間（令和3年度から令和12年度まで）となっており、後期基本計画の期間は、5年間（令和8年度から令和12年度まで）となります。

また、「とうがね10年の経営重点戦略事業」について、現行の内容を踏襲することを基本とさせていただきたいと考えております。

ただし、重点戦略事業として計上する事業の構成などを踏まえ、必要により各事業の区分等については、調整等を行うものとさせていただきたいと考えております。

- ・次期総合戦略については、現行の総合戦略と同様に基本計画において示すとともに、現行の戦略体系（基本目標と施策）を踏襲することを基本とさせていただきたいと考えております。

以上を基本的な方向性とする中で、「基本計画」、「経営重点戦略」及び「総合戦略」における現行の計上事業に係る進捗状況や課題、社会情勢や事業を取り巻く環境の変化などを踏まえ、精査等を行っていくものです。

なお、具体的には、

- ・前期（現行）基本計画から引き続き計画に計上する事業
- ・後期基本計画において新たに計上する事業
- ・関係事業の計上や廃止などを受け、前期（現行）基本計画をもって計画計上事業から除く事業といった、区分による整理をさせていただいた上で、計上事業を検討・決定して

まいりたいと考えるものです。

-----事務局による①に係る説明終了-----

会 長 「②今後のまちづくりについて」も続けて、事務局に簡潔に説明を求めます。

## ②今後のまちづくりについて

事務局：市の今後のまちづくりをどのように進めるべきかにつきまして、現行の計画から継続する取組、現計画の期間中に新たに対応等を要することが想定される取組について御意見をいただきたいと思いますと考えております。

また、市として、「東金駅周辺の今後のまちづくり」が新たな取組となるものと捉えておりますが、専門的な、幅広い知見や御経験による御意見や御助言、御提案などをいただきたいと思いますと考えているところです。

### 《現計画から継続する取組》

- ・企業誘致
- ・新たな産業用地の整備
- ・圏央道におけるスマートインターチェンジの設置
- ・ＪＲ東金線の各駅施設の整備（令和８年４月供用開始予定のＪＲ東金駅の東口改札の新設に伴う駅機能の強化等の取組）

### 《新たに対応等を要することが想定される取組》

- ・東金駅の機能強化を契機とした駅周辺の今後のまちづくり  
→「行政率先による、『公共公益施設の再配置やそれら施設に多機能性を持たせること』を念頭に置いた整備など」を核とした、「民間事業者等による投資誘導型」で進めていきたいと考えております。

「どの分野が必要」で「どういった要素が必要」で「こういった切り口が必要ではないか」といったものについて、御意見・御提案をいただきたいと思いますと考えております。

よろしくお願い申し上げます。

-----事務局による②に係る説明終了-----

会 長 事務局から①②について、説明がありましたが、御意見等ございますでしょうか。

委 員 市の職員の皆様は、国からの補助金や県からの補助金等について把握していることと思うが、市民は、そういったものを全く知らない状況である。

そのような中で、補助金が出るからこの事業をやろうというのではなくて、実際に市側が地域に出て、住民と協議し、関係者から話を聞く中で、このようなニーズがあり、こういった補助金があるから適用するなどといった、まずは、「ニーズの掘り起こし」についても柔軟に検討していただきたいと考える。

例えば、自治会の総会などの役員が沢山集まるような会議などに出向いてほしい。

もっと、市民からの意見を聞くといい取組に力を入れてほしいと考える。

会 長 ほかに御意見等ございますでしょうか。

委 員 現計画から継続する取組であるとか、新規に想定される取組など、非常に重要なものであると考えます。

そこで、行政率先と記載されている部分について、何か考えていることがあるのか、教えてほしい。

会 長 こちらについては、未だ公表できるような状況には至っていないというところですが、具体的には「どのような体制」で「どのような事業」について推進すべきかを内部で検討しているところであり、関係機関との折衝も進めていく必要があると考えていると伺っております。

委 員 どのような内容を検討しているのか、少し気になりましたので確認させていただきました。やはり、他委員からも事前意見として駅周辺のことを考える上で「サンピア」が話に出てきていた。

あの、建物はすごく老朽化している。また、中央コミュニティセンターなども老朽化している状況である。整備していくに際して、国や県からの補助金なども組み込みながらしっかりと進めてほしい。

施設の再整備や再配置など、難しいかなと思えるようなものでも、そういった大きな視点をもって進めていくと色々なきっかけの中で物事が進んでいくこともある。

昔は、国でまちづくり交付金といったものがあったが、今もそういったものの活用が見込めるのであれば、そういったものも十分に視野に入れて推進を図ってほしいと考える。

市 長 先ほどの委員からの御意見に対しまして、可能な範囲でお答えしていきたいと考えております。

令和8年度に向けて、東金駅東口の改札口の整備を行います。それを単なる整備のみに留めるのではなく、待合室やトイレの設置などをはじめ、駅前広場をどのように作り変えていくのか考えているところです。

また、それを契機とした中で、更に広い視点からどういったまちづくりができるかということについても併せて検討しております。

しっかりと考え、取り組んでいく必要があると認識しておりますので、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

- 会 長 貴重な御意見、また、市長のお考えについてありがとうございました。  
簡単に事務局から今後の考え方や方針について説明をしていただきました。  
後期基本計画及び次期戦略（今後のまちづくり）については、このような考えで進めるといった宣言のようなものでありますが、そのような中で、委員の皆様から有難いことにたくさんの御意見・御提案等をいただいたところです。  
このいただいた内容が、これからの物事を進めていくきっかけとなると思っております。  
委員の皆様もこの意見等一覧に今一度、目を通していただき、次回の会議の際は、事務局に対して、御自身の意見や考えをお示しいただければと思います。  
事務局においても、いただいた貴重な御意見をしっかりと内部で協議いただいて、次回の会議資料にしっかりと反映していただければと考えます。  
審議会といたしましては、このようなまとめでよろしいでしょうか。

～委員より異議なしとのお声あり～

-----議題(2) 終了-----

- 会 長 それでは、「議題(3)その他」へ進めさせていただきます。  
事務局から何かございますでしょうか。
- 事務局 それでは、次期計画の策定に係る今後の予定について概要を御説明いたします。  
(令和6年度第2回の開催予定及び令和7年度に想定される審議会の回数や時期についてお示しした)
- 会 長 あくまでスケジュール案のお示しということで、前後はあるかと思いますが、委員の皆様におかれましては、御理解・御協力をお願い申し上げます。

-----議題(3) 終了-----

会 長     それでは、全ての議事が終了となりました。  
改めまして、委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行に御協力いただきありがとうございました。事務局へお返しします。

事務局    委員の皆様、御審議ありがとうございました。  
また、会長におかれましては、議事の進行ありがとうございました。  
それでは、「5その他」ということで、議題以外のことといたしまして、委員の皆様方から何かございますでしょうか。

～委員から「特になし」とのお声あり～

事務局    それでは、以上をもちまして、「令和6年度 第1回 東金市総合計画審議会」を閉会とさせていただきます。  
本日は、公私ともお忙しいところ、御出席、御審議いただき、また、貴重な御意見や御提案を賜りまして、誠にありがとうございました。  
今後とも御指導賜りますようお願い申し上げます。